

早良区飯倉校区自治協議会

～育みネットいいくら主催 青少年育成会主管～

子どもたちに驚きと感動を

～33名の子どもたちが22kmのオーバーナイトハイクを体験～

子どもは、小学生の時に周囲からの刺激や情報に出会って、感じ→考え→行動する（自主性の始まり）源である、「感受性」を研ぎ澄ますといわれます。

私たち大人は、この子どもたちに「感受性」を研ぎ澄ます機会を、できるだけ多く与える必要があると考え、今年の冬の中では比較的暖かかった2月26日～27日の深夜に、このナイトハイクを実施しました。

この真夜中のイベントに、小学2年から高校2年生までの子ども33名が参加してくれました。午前0時から6時ごろにかけて、静まり返る大濠公園、海の夜景が素晴らしい西公園の山頂、波が打ち寄せる海岸、室見川の河川敷、ナトリウム灯が映える外環状道路を歩き通しました。子どもたちは滅多に見ることができないこれらの景色から、胸いっぱい刺激を受け止めてくれたのではないのでしょうか。

途中、音を上げそうになって伴走車に乗ることを希望する子もいますが、原則、歩き続けるように説得します。それでも乗る子がいましたが、歩き続ける仲間を見て「やっぱり歩く」と車を降りていきました。小学2年生が頑張っているのを見て、奮起する上級生もいます。今の子どもたちの競争心も満更ではないですよ。

6時頃には、全員22kmのコースを完歩し、めでたくゴールイン。ゴールの公民館には、早朝から迎えに来られた保護者の方々から大きな拍手が湧き起こります。ちょっとはにかみ顔の子と、ちょっと涙っぽいお母さんの顔。ナイトハイクのクライマックスです。

さて、ここからが大切。完歩した全員に一人ひとり完歩証を手渡します。この時、道中での良かった点を紹介、褒めてあげます。また、班長・次長には、6時間にわたる功績に対して表彰状を授与します。実際、班長と次長は高学年というだけで指名されて、本当に良く頑張ってくれました。自分もつらい時に、周囲の子どもに気を遣い、班の責任を負わなければならない状況を、初めて経験したことだと思います。



第1グループ、出発しま～す！



まだまだ余裕。ひとやすみ、ひとやすみ



全員完歩しました！豚汁おいしかった！でも眠い…



十郎川、春のクリーンアップ大作戦

～中学生が 175 人参加しました～

吉岐校区自治協議会は自然環境を守り、ゴミ減量や緑のカーテンの普及など環境保全の活動に取り組んでいます。

春は校区内を流れている十郎川約1.4kmの清掃活動を実施しました。校区にある大切な自然も、放っておけばいつの間にか投げ捨てられたゴミが集積して、景観を損なうばかりか増水時には水の流れを悪くして住民の安全を脅かすことにもなりかねません。この清掃活動は、春と秋の年2回実施しはじめてから、今年で11年目となります。

この春は4月16日に実施しましたが、天候にも恵まれ参加者は400人を超えました。各町内の参加者や小・中学校の先生方に加えて、中学校の運動部・文化部からも大勢の参加があり、楽しく活動できました。日頃から学校と地域が連携してお互いに協力できている成果だと思います。

これからもコミュニティの輪を広げながら十郎川清掃活動をはじめ環境保全活動に取り組んでいきます。



金山校区「チャレンジくらぶ」

～“かち歩き”で地域の絆づくり～

平成16年の自治協議会発足を機に各種団体が共働で事業を実施する目的で設立されたのが「チャレンジくらぶ」です。記念すべき第一回は約300名が参加した校区内“ウォークラリー大会”でした。はじめの3回は、地域での異世代間交流が目的でしたが、子どもの健全育成には「参加型より体験型を」との意見も多数あり、小学校のおやじの会の協力も得て、平成19年から“かち歩き”を実施しています。雁の巣レクリエーションセンターを出発し、金山小学校をめざしての20km。5kmご



とのチェックポイントでは実行委員が待機して参加者の健康面に気を配り、公民館では男女共同参画協議会・民生

委員が昼食のカレーライス作り、青少年育成連合会はにぎやかに出迎え係をする



など、「チャレンジくらぶ」設立当初の思いは引き継がれています。毎回、地域の高齢者も多数参加。また、小学校から校長先生をはじめ先生方にもサポートしていただいています。親子で参加した低学年の子どもたちが誇らしく完歩するなど、“かち歩き”は校区の恒例行事として定着しています。思いは、中学・高校生になった子どもたちが積極的に参加し、運営面にも協力してくれるようになること。これが「チャレンジくらぶ」の願いであり、地域の夢でもあります。

「頑張ろう日本！」を合言葉に

美和台校区自治協議会は、昨年、校区住民の発案を自治協議会と公民館が後押しする形で、「博多どんたく港まつり」へ参加しました。校区単位での参加は、初めてのことです。

プラカード、ポンポンなどの小道具、ベニヤ板を組み立て、花紙と和紙の鯉のぼりで飾り付けした音源車など、全てが手作りのどんたく隊です。沿道からもたくさんの声援をもらい、住民の『元気』と『心意気』、『団結力』を示すことができたと思います。

地域福祉の活性化には、先ず何よりコミュニティ活動の活性化が大切です。昭和47年に生まれたわが町は、今や成熟した町に成長しています。しかしながら、進行する少子高齢化の波にもめげ



ず、自治協議会と公民館を通じて培った人間関係は、固い絆を誇っています。今後も、地域の活性化の一環として、福岡市の伝統行事である「どんたく」への参加をはじめ、様々な活動に取り組み、『元気なまち美和台』をつかっていきたいと思えます。



民意を生かした地域づくり

■4年ごとのアンケート

能古島は、昭和16年に旧早良郡残島村から福岡市に合併して、今年が大きな節目の70年となります。

自治会運営にあたっては、住民の意向を重視するため、昭和50年から4年ごとに、全世帯の成人を対象とした「能古島住民意向調査」を実施しています。アンケートの設問も時代と共に変化し課題はありますが、住みよい島にするために現状や将来、今後の進むべき道の参考資料として活用しています。

■独自の取り組みを大切に

校区行事としては、能古おくんち(市無形文化財、市有形文化財)をはじめ、体育祭、夏まつり、敬老会などを実施しています。

そのうち、特色のある行事をご紹介します。

■自主防災

島に火災が発生すると消防士が到着するま

でに30分以上かかります。また、消防団員も昼間は大半が仕事で島外にいます。

いざという時に自分の地域を守るためには、日頃からの取り組み、心構えがとても大切です。

そこで、毎年、校区一斉清掃の後に、各自治会で消火栓からホースを直結した放水訓練を実施しています。

■成人式

能古校区では校区での成人式を大切に守って開催しています。

島の小・中学校を卒業された方など校区出身の新成人を招待します。校区の各組織の長をはじめ、保育園や小・中学校の当時の担任の先生などを来賓に迎え、思い出話などもしていただき、意義ある成人式になっています。



博多区東吉塚校区

東吉塚校区自治協議会

阿部 一雄 会長

(博多区自治協議会長連絡協議会副会長)



- 昭和48年4月に吉塚校区から分離した校区で、博多区の最北端に位置し、JR吉塚駅を中心として、市民病院、県合同庁舎、スポーツ施設、量販店、大型マンションも建ち、25自治会、約5,600世帯、人口約10,300人の校区となっています。
- 当協議会は、部会制を採用し、『まちづくり事業』の活動を推進しています。主要行事は、「夏の祭典」、「体育祭」、毎週単位自治会長・各部会による夜間パトロール、防災訓練、登下校時の交通誘導、美化運動やリサイクルの推進にも努めています。また、校区住民の連帯感を一層強めるべく、平成21年3月に「東吉塚音頭(コミュニティ通信第3号参照)」を制作し、住民が踊りの輪を広げています。
- 「地域の安全は地域で守る」の信念のもとに、毎週の防犯活動を継続するとともに、吉塚・東吉塚のより一層の治安の安定を図る上から、JR吉塚駅東口への警察官立寄所(詰め所)設置の実現に向けて取り組んでいます。住みよい地域づくりには、町内会の未加入者をなくし、住民一人ひとりが地域のことを考え、地域の行事や活動に参加することが大切だと思っています。

中央区春吉校区

春吉校区自治協議会

袴田 政夫 会長

(中央区自治協議会等代表者会副会長)



- 那珂川西側沿いの細長い地域で、江戸時代は藩士たちが住み、当時の組屋敷の名残で、横筋に一番丁から七番丁などの町名があります。現在は、渡辺通りを中心にビジネス街を形成し、夜は中洲に隣接するネオンきらめく街でもあります。渡辺通りでは地下鉄3号線が開通し、再開が進んでいます。例年、博多どんたくの本舞台や飾り山笠が設置され、博多の台所と言われる市場もあります。
- 校区の皆さんが手を携える雰囲気づくりと健康づくりの視点から「ちょこっとウォーキング」を子どもから高齢者まで、毎月季節に合わせた内容で楽しく実施しています。そのほかにも、ダーツやグラウンドゴルフ、公民館指導による健康体操なども実施しています。校区全体の行事としては、夏祭り、敬老会、餅つき、新春の集いなど、幅広い行事を実施しており、参加者も年々増加しています。特に各種団体の協力もあって自治協の活動も一層活発化しています。
- 東日本大震災や福岡県西方沖地震を教訓に、高齢者世帯が多いことや校区が那珂川沿いに位置することもあり、今年は、防災に特に力を入れます。また、マンション居住者のコミュニティへの参加を促進するなど、公民館とも連携しながら校区全体が輪になって、元気で明るい校区づくりに努めてまいります。

南区西高宮校区

西高宮校区自治連合会

内山 仁 会長



- 当校区は、都心部に近く、また西鉄大牟田線の駅にも隣接し交通の便も良いため、マンションの建設が進み、人口が著しく増加しています。校区人口は約16,000人であり、南区においてその数が1番多い校区となっています。
- 自治連合会においては、各種団体の連携・協力により、安全・安心なまちづくりをはじめ、スポーツから文化・芸術まで多彩な活動を進めています。特に、児童生徒数が多いことから、こどもの安全・安心には積極的に取り組んでおり、平成18年4月からは、南区初の白黒塗装の青パトを運行し、毎日2回、土日祝日は1回のパトロールを行い、登録隊員数は200名を超えるものとなっています。また、その活動により、犯罪発生件数も運行前と比較して半減しており、マスコミ等にも取り上げられています。
- 校区の安全・安心なまちづくりのもう一つの柱である防災自治組織の充実を図りたいと考えています。今年は、一時避難所の確定や災害時要援護者の確認・支援者の養成のためのマニュアルづくりを進めていきたいと考えています。

お問い合わせ・地域の情報 などはこちらまで



- 東区役所地域支援課
TEL 645-1041 FAX 645-1042
- 博多区役所地域支援課
TEL 419-1048 FAX 452-6735
- 中央区役所地域振興・支援課
TEL 718-1062 FAX 714-2141
- 南区役所地域支援課
TEL 559-5072 FAX 561-5360
- 城南区役所地域支援課
TEL 833-4061 FAX 822-2142
- 早良区役所地域支援課
TEL 833-4416 FAX 851-2680
- 西区役所地域支援課
TEL 895-7036 FAX 882-2137

○市内の地域活動をJ:COM福岡で放送していますが、ホームページでもご覧になれます。

<http://www.jcomfukuoka.com/tv/weekly/>

※ウイークリーふくおか>タウンレポート

○福岡市コミュニティ通信は、福岡市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/>

※生活情報>コミュニティ・地域の活動・NPO・ボランティア>
コミュニティ・地域の活動